

研究課題名：造血器腫瘍が骨形成に及ぼす影響の検討

【はじめに】

近年、造血器腫瘍の発症、進展を支えるニッチと呼ばれる微小環境の存在が注目されています。このニッチを形成する細胞の一つに骨形成を促進する骨芽細胞があり、最近の研究で、造血器腫瘍細胞が骨芽細胞の分化、増殖を制御することで自身に都合の良い微小環境を作っている可能性があることがわかってきました。造血器腫瘍により骨芽細胞の分化、増殖が阻害されると、正常な骨形成が行われずに骨量が低下することが予想されます。

そこで我々は、東京大学医科学研究所附属病院の診療情報を用いて、造血器腫瘍患者様の骨量をCTやMRIなどの画像データから推定し、造血器腫瘍の種類や予後と骨量の相関関係を後方視的に解析する研究を実施することにしました。この結果をもとに造血器腫瘍と骨芽細胞ニッチや骨形成との関係を明らかにし、将来的には骨芽細胞ニッチを標的とした治療法や骨量低下予防法の開発に繋げていきます。なおこの研究は、東京大学医科学研究所倫理委員会の承認を得て研究機関の長の許可を受けて実施されます。

【方法】

東京大学医科学研究所附属病院で診断、治療を受けた方の診療情報および画像データを用いて、造血器腫瘍の種類、移植の有無、使用した薬剤の種類、感染症発症の有無、転帰などの情報と、骨量の相関について検討します。造血器腫瘍患者様のデータ解析が中心となりますが、比較のため少数の非造血器腫瘍患者様についても同様の解析を行います。

【対象となる患者様とご協力いただきたいこと】

東京大学医科学研究所附属病院において1998年2月から2016年12月までの間に診断、治療を受けた16歳以上の方を対象としています。ご協力いただきたいことは、該当する患者さんの2016年12月31日までの診療情報を本研究に使わせていただくことです。

【個人情報保護の方法】

診療情報を使わせていただくにあたっては、直接患者さんを識別できないような登録番号を用います。登録番号と個人情報の対応関係を記した表（対照表）は細胞療法分野の鍵のかかる保管庫にて厳重に管理します。

【研究参加による利益・不利益】

利益：本調査に参加いただいた患者さん個人には特に利益と考えられるようなことはありませんが、研究結果が今後の治療の発展につながる可能性があります。

不利益：保存されている診療情報のみを用いるためご負担をおかけすることはありません。

【研究終了後の情報・データの取り扱い、研究参加の辞退について】

個人情報を記載した対照表は、解析データの事後的な検証を可能とするために、研究責任者が研究終了後も5年間保存し、その後にシュレッダーにて廃棄します。

なお、本研究にご自身の診療情報が使用されることを辞退されたい場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。辞退の連絡を受けた場合、それ以降、患者さんの診療情報を本研究に用いることはなく、辞退によって患者さんが不利益を被ることはありません。しかしながら、辞退のご連絡を受けた時に、すでに研究成果が論文や学会発表などで公表されていた場合は結果を廃棄できない場合もありますことをご了承ください。

【研究成果の公表について】

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人情報に厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報が明らかになることはありません。

【問い合わせ窓口】

この研究についての質問やご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合、あるいは、本研究への診療情報の使用について辞退されたい場合、下記の窓口までお問い合わせ下さい。また、本研究について詳しくお知りになりたい場合には、研究計画書などの資料をご覧いただけますので（ただし、他の対象者などの個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲内で）、下記の窓口までご連絡ください。

東京大学医科学研究所附属病院
先端医療研究センター
細胞療法分野
北村俊雄
〒108-8639
東京都港区白金台4-6-1
TEL:03-5449-5759
E-mail: kitamura@ims.u-tokyo.ac.jp